

子育て相談

子どものことや家庭のことで
相談したいけど…



お子さんのことや家庭のことで知りたいことや話したいことがある…
そんなとき、北九州市には下記のような相談に対応する機関がありますので、ご利用ください。

子ども・家庭相談コーナー

「子育て支援の情報提供」「子どもや家庭についての相談」「教育相談」など子どもと家庭に関する相談をひとつの窓口で受け、それぞれの相談内容に応じて必要なサービスや支援へとつないでいきます。

市内各区役所の保健福祉課に設置されています。(全7箇所)

	住 所	電話番号(直通)
門 司 区	門司区清滝一丁目1-1	332-0115
小 倉 北 区	小倉北区大手町1-1	563-0115
小 倉 南 区	小倉南区若園五丁目1-2	951-0115
若 松 区	若松区浜町一丁目1-1	771-0115
八 幡 東 区	八幡東区中央一丁目1-1	661-0115
八 幡 西 区	八幡西区筒井町15-1	642-0115
戸 畑 区	戸畑区千防一丁目1-1	881-0115

*相談時間…月～金曜日の8時30分から17時まで(祝日・年末年始を除く)

子ども総合センター

北九州市では、保健・福祉・教育の統合による総合的・専門的支援体制をめざして「子ども総合センター」を開設しました。

住所 〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町1-6 ウエルとばた
TEL 093-881-4556

24時間 子ども相談 ホットライン

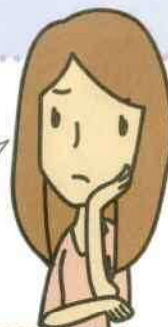
学校や友だちなどのことで悩む子どもからの相談、子育てに悩む親からの相談、虐待に関する通報等を、専門の電話相談員が24時間電話で応じます。



子どもの発達に 関する相談



子どもの発達や
障害のことで
相談したいのだけど…



「もう学校生活に慣れてもいいのに、どうもお友達となじめないようだ」「学習についていくのも大変そうだ」「学校生活に適應できていないようだ」など、お子さんの発達に関する問題を感じたときは、下記のような相談機関があります。お子さんのより幸せな学校生活と、よりよい成長がはぐまれるように、家庭と学校と関係機関で協力して、考え合ひましょう。

北九州市の主な相談機関

特別支援教育相談センター

相談内容

- 子ども・保護者・先生を支援する教育相談
- 学校を支援する巡回相談
- 適切な就学をめざす就学相談
- 幼児からの適切な支援を行う早期相談事業

電話(FAX)

921-2230 (923-3010)

子ども総合センター

相談内容

- 心身の発達に心配のある子どもについての相談、判定(療育手帳の判定等)
- 児童福祉施設への措置 など

電話(FAX)

881-4556 (881-8130)

総合療育センター

相談内容

障害のある子どもへの治療、相談やリハビリ など

電話(FAX)

922-5596 (952-2713)

発達障害者支援センター「つばさ」

相談内容

発達障害のある方、その家庭や所属する学校等を対象とした相談や訪問の実施 など

電話(FAX)

922-5523 (922-5523)

学習や生活の様子で
気がかりなことがあれば、
担任の先生に
相談しましょう。

各学校では、相談や支援の体制を整えています。
必要に応じて「特別支援教育コーディネーター」と呼ばれる先生が、保護者からの相談を受けたり、教育機関や福祉機関等との連絡・調整を行ったりしています。

「特別支援学級」「通級指導教室」について

特別支援学級

小集団でお子さんの発達段階に応じた教育を行い、障害による学習上または生活上の困難の改善・克服を図るとともに、集団生活に参加していく力を培っています。学校行事や一部の教科学習等、通常の学級との交流や共同学習も行っています。

通級指導教室

通常の学級に在籍している軽度の障害のあるお子さんは、必要に応じて通級による指導を利用することができます。

*詳細は、学校または教育委員会特別支援教育課までお問い合わせください。(TEL 582-3448)

中島教授の子育て診断



親子関係の日常のチェックを自己点検のつもりで行ってみましょう。

- 父親・母親として、自分自身で回答してみてください。
- 各質問について「はい」の場合は、このまま子育てを楽しんでください。
「いいえ」のところは、少し生活や子どもとのかかわりの見直しをしてみてください。
- この子育て診断は、自己評価するものです。これを参考にして、子育てをかけがえのない営みにしていいただければ幸いです。

- ☐ 子ども自身が自分を好きになるように勇気づけていますか。
- ☐ 自分が子育ての当事者であるという自覚をもっていますか。
- ☐ どのような子であれ、ありのままを受け止めるようにしていますか。
- ☐ 子どもが自主的に取り組むまで、辛抱強く待とうとしていますか。
- ☐ 最近子どもと、身体と身体とのふれ合いをしましたか。
- ☐ 甘えてくるわが子や弱音をはくわが子の気持ちを受け止めていますか。
- ☐ 今の子育てが子どもの将来に影響すると思いますか。
- ☐ 子どもの親しい友達の名前を3人以上いえますか。
- ☐ 子どもの短所や失敗でなく、長所やがんばりのほうを見つけるように努力していますか。
- ☐ 子どもに我慢させるときは、きちんとこらえさせ、その努力を認めていますか。
- ☐ なかなか気持ちの言えない子に、ゆっくりと対応していますか。
- ☐ 動物や植物の「いのち」にも関心をもたせるようにしていますか。
- ☐ できるだけ、あたたかい言葉を使うように心がけていますか。
- ☐ 子どもが一番の嬉しいのは、親の笑顔だと自覚して、できるだけ笑顔でいますか。
- ☐ 子どもとの対話の時間をできるだけ取ろうと意識していますか。

中島教授の 子育てアドバイス



対話文化の醸成は家庭から

親にできることで、もっとも費用もかからず効果の高いものは「黙って聴くこと」です（育耳）。そこで子どもの心に生じた「お母さん（お父さん）わかってくれた」という気持ちが明日を拓く子どもの勇気のもとになります。

また、聴くということの中には「質問する」という意味があります。「ちょっと聞いていい？」というのは「質問していい？」ということです。ですから『聴き上手は質問上手』ということです。忙しいでしょうが「困っていることはない？」「サッカーはどうして面白いの？」など相手の心に届く質問をするように心がけたいものです。質問は「あなたに関心をもっていますよ」のメッセージですから、子どもにとって嬉しいことなのです。

また、自主性を伸ばすための質問もあります。「予測を質問する」というやり方です。

例えば子どもが、テレビを見つづけて課題に取り組んでない場面にガミガミ小言をいうのではなくて、「そんなことしていたらどうなると思う？」と先の予測を質問します。すると「宿題をする時間がなくなる」や「勉強がわからなくなる」などと答えたとしたら、「そう。わかっているならいいよ」と向こうに行くのです。しばらくすると子どもはテレビを自分で消します。

このように子どもを勇気づけ自主性をのばし、生き生きさせる一番の方法は「聴くこと」を中核とした「対話の家風」を創ることではないでしょうか。家庭に対話の文化を築くことが、豊かな文化あふれる地域を創り、幸せな国家と平和な地球を形成する第一歩なのだと思うのです。

索引

学校生活の1日を紹介します。	1
登下校時の安全	2
あいさつや返事	3
トイレ（排泄）	4
学校の準備	5
鉛筆の持ち方・よい姿勢	6
給食①	7
給食②	8
昼休み・掃除の時間	9
保健室	10
着替え	11
睡眠時間	12
朝食	13
体力・健康	14
家庭学習	15
読書①	16
読書②	17
子育て座談会	18
学校への相談	19
子育て相談	20
子どもの発達に関する相談	21
中島教授の子育て診断	22
中島教授の子育てアドバイス	23





監修

西南女学院大学 教授 中島 俊介

制作

北九州市教育委員会
改訂 平成 30 年 3 月

参考資料

- 平成22年版家庭教育手帳 〈文部科学省〉
- 乳幼児編(ドキドキ子育て)
- 小学生(低学年～中学年)編(ワクワク子育て)
- 小学生(高学年)～中学生編(イキイキ子育て)
- 大人になったみんなへ 〈文部科学省〉
- 社会全体で支え合う家庭教育支援 〈文部科学省〉
- 福岡県教育力向上福岡県民運動実践の手引 〈福岡県教育庁〉
- 大切です！幼児期からの生活習慣 〈福岡県教育委員会〉
- はじめての学校給食 〈北九州市教育委員会〉
- 家庭学習のススメ 〈北九州市教育委員会〉
- 家庭学習のススメⅡ 〈北九州市教育委員会〉
- 家庭学習チャレンジハンドブック 〈北九州市教育委員会〉
- かけがえない命を大切にするために 〈北九州市教育委員会〉
- 文部科学省ホームページ



北九州市教育委員会